

脊髄髄膜瘤の診療ガイドライン策定

研究分担者 埜中 正博 関西医科大学脳神経外科

研究要旨

脊髄髄膜瘤の診療ガイドライン策定

A. 研究目的

日本における脊髄髄膜瘤の診療については、従来施設間での治療方針が大きく異なることはなかった。しかし近年水頭症についてはVPシャントに代わり内視鏡下第3脳室開窓術を導入する施設が増えてきているなど、治療方針にばらつきがみられるようになってきている。そのためエビデンスを収集し、それぞれの治療法についての利点と欠点を十分に反映したガイドラインを定める必要性があると考えられる。

B. 研究方法

まずはガイドライン作成組織の編成を行う。メンバーは小児神経外科学会の学会員、および関連学会構成員、患者会の組織の中から選定する。引き続き疾患トピックの基本的特徴、並びにスコープを作成し、診療ガイドラインがカバーする内容を作成する。その中で重要臨床課題（クリニカルクエスチョン）を設定する。その重要臨床課題についてシステマチックレビューを行い、エビデンスの評価、統合を行う。この研究の読み込みと評価が中心となると予想される。その結果を受けて推奨を作成し、診療ガイドライン草案作成した上で、外部評価、およびパブリックコメント募集をへて公開する予定である。

（倫理面への配慮）

既発表済みの研究結果を解析するため、特に配慮すべき項目はない

C. 研究結果

作成目的の明確化、作成主体を決定した。またガイドライン作成のための組織編成を行った。メンバーは小児神経外科学会の学会員を中心に選定しているが、学会員以外のメンバーについては選定中である。現在はスコープの作成を行っているところである。

G. 研究発表 論文発表

1. Nonaka M, Asai A. Treatment of Arachnoid Cysts: Endoscopic Fenestration or Cyst-Peritoneal Shunt? No Shinkei Geka. 47(1) :39-48, 2019
2. Fukuoka T, Nonaka M, et al (他 66 名, 55 番目). Significance of molecular classification of ependymomas: C11orf95-RELA fusion-negative supratentorial ependymomas are a heterogeneous group of tumors Acta Neuropathol Commun. 6(1):134
3. Arita H, Nonaka M, et al. (他 24 名, 9 番目) Lesion location implemented magnetic resonance imaging radiomics for predicting IDH and TERT promoter mutations in grade II/III gliomas. Sci Rep 8(1): 11773, 2018.
4. Sasaki T, Nonaka M, et al. (他 24 名, 7 番目) Characteristics and outcomes of

elderly patients with diffuse gliomas: a multi-institutional cohort study by Kansai Molecular Diagnosis Network for CNS Tumors. J Neurooncol 2018. doi: 10.1007/s11060-018-2957-7.

5. Okita Y, Nonaka M, et al. (他9名, 8番目) Stereotactic image-based histological analysis reveals a correlation between 11C-methionine uptake and MGMT promoter methylation in non-enhancing gliomas. Oncol Lett 16(2): 1924-30, 2018.
6. 埜中正博. 二分脊椎 (脊髄髄膜瘤と脊髄脂肪腫) 小児科臨床 71 (査読なし)

学会発表

1. 埜中正博、他. 小児水頭症に対する内視鏡手術: 脈絡叢焼灼術はどのような変化をもたらすのか. 第25回日本神経内視鏡学会 (新潟)
2. 埜中正博、他. 小児水頭症に対する第三脳室底開窓術と脈絡叢焼灼術の利点と問題点. 日本脳神経外科学会 第77回学術総会
3. 宮田真友子、埜中正博、他. 出生前診断された脊髄髄膜瘤の長期予後の解析と胎児治療に向けた問題点の検討. 日本脳神経外科学会 第77回学術総会

H.知的所有権の取得状況 (予定を含む)

なし